



和

第118号



発行日 平成29年7月21日
 発行者 富士市立田子浦中学校 PTA
 PTA会長 鈴木章司
 編集者 成人教育部

富士市立田子浦中学校ホームページアドレス
<http://www2.city.fuji.shizuoka.jp/~j-tagoura/>

この原稿を書いている頃は、各学年の宿泊行事も無事に終え、熱血応援会の練習に熱がこもってきている時期です。毎朝、体育館からは応援委員会のメンバーが練習している声が聞こえてきます。毎年の行事ですが、一年一年に思いを込めて催されているのを感じます。中体連が終わると、次は体育大会。三年生にとっては、学校生活のフィナーレを飾る行事となるだけに、今まで以上に熱がこもってくることでしよう。

新年生や新しい先生方を迎えて、平成二十九年度の田子浦中学校がスタートしました。さて、このPTA新聞が皆様のお手元に届くころは、もう中体連も終わってしまっているでしょうか。田子浦中学校の活躍が一つでも多くの種目で見られることを期待しています。



一日、一日をこうして思いの限り生活できるのも、生徒たちを家庭で支えてくださっている保護者の皆様のおかげと感謝しています。中学校生活の三年間が悔いの残らないものとなるように、私たち職員一同も精一杯生徒を支えていきたいと思えます。今年も地域、家庭とともにある田子浦中学校をめざしてまいります。これまで同様、御理解と御協力をよろしくお願い致します。



平成二十九年度が始められました。今年度で三年目になりましたが、いつも本校の教育活動に御理解と御協力を頂き、本当にありがとうございます。今年度も、すでに三ヶ月が過ぎましたが、部活動での各種大会でサッカー部、剣道部、卓球部、陸上部が優勝するなど、素晴らしい成績を収めています。他の部活動も含めて中体連が楽しみです。さて、例年ならば、五月末の宿泊行事には、二年生の林間学校を引率するのですが、今年は市の少年自然の家で、一年生が行う自然教室に参加しました。中学校に入学してまだ生活面、学習面でも慣れない



挨拶、感謝の言葉、謝罪の言葉など言葉には色々ありますが、声に出して発信しなければ相手に伝わりませんので、出来る限り声に出すように心掛けています。一方、心の声は、聴く側が相手のことを思いやり、真剣に向かい合うことで聴いてくれると思います。子供と接する時には出来る限り心の声を聴こうとしていますが、なかなか上手くいかないのが現状です。ですから、自分の気持ちを声に出して伝えるようにしています。子供にきちんと伝わっているかは疑問ですが、このような私ですが、会長を引き受けた以上、一生懸命職責を全うしたいと思っておりますので、一年間宜しくお願い致します。



四月十五日(土)平成二十九年度PTA総会が開催されました。PTA会長・校長挨拶に続き、総務会役員承認、事業計画案、予算案報告、体育大会パサー(制服・ジャージ)協力をお願い、学校職員の紹介が行われました。多数の御出席、ありがとうございました。

中、そして準備期間も短かったにもかかわらず、リーダーを中心に学級、学年がひとつひとつ活動を進めていきました。中でも驚いたのが、二日目のかまどのカレー作りです。各班に二束ずつ計二十五束の薪が配られました。最終的に余った薪を集めて束を作り直してみようと、何と十束になりました。学年全体で十五束しか使わなかったことになりました。私もよくキャンプをしますが、最近とかく無駄に薪を燃やす子供が多いと感じていました。とても優秀です。来年の林間学校がとても楽しみです。二年生の隠れた才能を発見しました。



五月二十二日、第一回古紙回収が行われました。皆様の御協力と部活動単位で参加した子供たちのおかげで無事に作業を終える事ができました。ありがとうございます。古紙による収益は、子供たちの学校生活向上のために使われます。次回の七月三十日は暑い時期となりますが、今回よりも多くの回収ができますよう御協力をお願い致します。

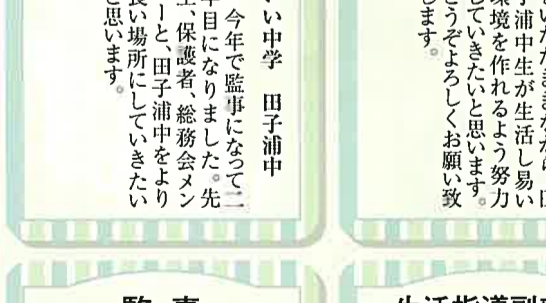
PTA総会



古紙回収について



古紙回収



古紙回収



古紙回収

古紙回収について

古紙回収

古紙回収

古紙回収

古紙回収

監事 藤田 剛志 御協力ありがとうございます。総務会に入って三年目。周囲の人、職場の人たちの理解のお陰もあり、活動させていたたいと思っています。子供たちの活躍をPTAの皆様と一緒に応援していきたいと思っています。	副会長 外山 和矢 これまで様々な場面で御協力いただき、人との繋がりを強く感じてきました。今年度も地域の皆様に感謝しつつ、田子浦中学校の活動を支援していきます。	副会長 保科 拓也 一年間、宜しくお願いします。二年間環境整備部の活動をさせていただき、古紙回収や奉仕作業では皆様の御協力をいただきありがとうございます。今年度も宜しくお願い致します。	副会長 望月 洋一 素晴らしい田子浦中学校。この素晴らしい田子浦中学校にて、三年目の役員をさせて頂いたことに感謝しています。子供たちの学校生活、より良い環境作りの為に精一杯頑張りたいと思います。	母親委員長 佐竹 諭有子 助け合いの精神でPTAの役員になり、多くの方々に励まされ、支えられていることを実感しています。皆様に楽しく活動していただければ、頑張りたいと思います。	顧問 村瀬 肇 最強の応援団。子供が毎日元気で登校し、楽しい学校生活を送れていることが、大変うれしく思います。PTAは、いつでも子供たちの最強の応援団です。
監事 石川 千代志 いい中学 田子浦中。今年度で監事になって二年目になりました。先生、保護者、総務会メンバーと、田子浦中をより良い場所にしていききたいと思っています。	生活指導部長 近野 修 宜しくお願いします。皆様の御指導、御協力をいただきながら、田子浦中が生活しやすい環境を作れるよう努力していききたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。	環境整備部長 佐野 友秀 古紙回収活動について。環境整備部の活動は、古紙回収で得た収益は、生徒の学校生活向上に使われます。皆様の御協力を得ての活動となりますので、本年も宜しくお願い致します。	体育保健部長 小野 尚志 御挨拶。昨年度に引き続き、体育保健部を努めさせていたことに感謝しています。生徒たちの学校生活を盛り上げるべく、皆様方と共に頑張っていきたいと思っております。宜しくお願い致します。	成人教育部長 田中 あかね 御協力宜しくお願いします。成人教育部の活動は、皆様の御協力の賜物であり、三年間の子供たちの成長を一緒に喜び、また応援していきたいと思っております。本年度も宜しくお願い致します。	副会長 後藤 栄紀 子供たちの活躍を期待して子供たちが目標をもって全力で打ち込むことが出来る環境づくりのため、皆さんと一緒に取り組んで参ります。よろしくお祈り致します。
監事 高橋 盛義 綺麗な田子浦中。今年度、中丸浜区より監事をやらせていただきました。ことになりました高橋です。わからないことが多くありますが、宜しくお願い致します。	生活指導副部長 大竹 智典 宜しくお願いします。総務会二年目のため、分からないことはばかりですが、皆様のお力をお借りし、部長の手助けができるように頑張りたいと思います。	環境整備副部長 本木 威達 古紙回収。奉仕活動について。古紙回収、奉仕活動は、地域と学校、親子の協力やコミュニケーションの為にも大切な活動です。本年度より、頑張るべく、頑張らせていただきます。	体育保健副部長 春川 健悟 初めまして。この度、体育保健部副部長を務めることになりました。田子浦中の生徒が楽しく学校生活を送ることが出来るように、皆様のお力をお借りしてがんばります。	成人教育副部長 丸山 美穂 よろしくお祈りします。今年度、成人教育部副部長補佐を務めさせて頂いたことになりました。部長、副部長をサポートしていきます。どうぞよろしくお願い致します。	成人教育副部長 広瀬 まりこ よろしくお祈りします。今年度、成人教育部副部長を務めさせて頂いたことになりました。皆様に御協力いただきながら参りますが、滞りなく運営をしていきたいと思います。

修学旅行 三年生

過去から学び 今を創る

歴史フィールド いざ出陣

感謝する心

三年部主任 渡邊真理子
「ありがとう」がたくさん言える修学旅行にしよう。これまで二年間が順風満帆だったとは言えないことを踏まえて、「過去から学び」という言葉をスローガンに入れたようです。自分たちの「過去」に併せて、日本の歴史や古来から引き継がれている伝統文化をも学ぼうとする姿勢が表れていて、とても素敵なスローガンだと思います。そして目標を達成するために、感謝する気持ちを表す言葉は、必要不可欠でした。さて、解散式で終太郎さんが答えました。「教え切れないくらい。感謝の言葉の数だけ、人との絆と自分自身の輝きを増した行事となりました。」



西と東

三年一組 佐藤 慎
僕が修学旅行で一番印象に残ったのは、食事です。僕たちの住む静岡県と京都・奈良県とは味つけが全然違いました。例えば、みそ汁一杯比べても、静岡とは違った深い味わいがありました。貴重な体験ができ、西の方の人の好みが少し分かった気がします。このことを忘れず、また比較しながら静岡の食事をより味わってほしいと思います。



組紐体験



新幹線の中でもフクフク



多岐川

長かった十分

三年二組 岡部美紅
妙心寺では、座禅体験をしました。十分という時間が、座禅の時にはとても長く、普段自分たちが何気なく過ごしていたことに驚きました。有難い話も聞くことができて、心が洗われたように感じました。緊張感に包まれた空間で、自分の気持ちを改めて、新しく進んでいこうと、全員が感じた貴重な体験でした。



奈良薬師寺にてお坊さんの講話はためになりました。

和みの時

三年四組 藤田 稔十
修学旅行二日目。クラス別研修で、私たち四組は、伏見稲荷や北野天満宮などを参拝した。昼食後は、七宝焼体験をした。みんなの表情は真剣そのものだった。先生に話しかけると「集中しているから」と怒られてしまった。普段は感じられない和みのある雰囲気、私たちが包みこんでいた。中学最後の宿泊行事は、最高だった。

さあ行こう！京都の旅へ

三年三組 梶原 未来
修学旅行の三日目。タクシで班別研修をした。京都の町を歩いて、たくさんのお寺や神社をまわった。私が一番すごいと思ったのが、清水寺だった。部、工事をしていた「清水の舞台」に立って、なつかしい思い出が蘇った。きれいな朱色に染まったお堂が、いくつも並んでいた。そこから見る景色は最高だった。この京都の旅は、中学生生活の中でも印象に残った。



和菓子作り

一生懸命ねりねりパーツを作っています！

林間学校 二年生

成長できた林間学校

二年部主任 小林 浩治
林間学校のスローガン「率先躬行」は、二年生が苦手な「自分で気付き、自分で考え、実行する学年になる」という思いが込められています。自分でも何かもやらなければ成り立たない。泊三日の林間学校を通して、二年生全員が充実した実り多い素晴らしい行事となりました。



キャンプファイヤー

火の神から授かった火を火の子たちが点火します

キャンプファイヤー
二年組 秋山 実々子
キャンプファイヤーでは、スタンツで各クラスの個性がたくさん見られました。その後のフォークダンスでも、一人一人が楽しく踊って、仲間との絆が深まりました。



The 修学旅行 金閣寺

成長の実感

三年五組 市川 泰祐
この学年には、生活面で小さいけれども、たびたび問題が起きていました。そんな過去の過ちから学び、中学校生活最後の宿泊行事を最高なものにしようという思いが、スローガンには込められています。そんな願いが叶ってか、修学旅行は大きな問題もなく、最高のものになりました。また、自分たちの成長も、実感できるものとなりました。

ハイキング

二年二組 深澤 佑月
林間学校のハイキングでは、風穴・氷穴・こもり穴へ行き、とても長い距離を歩きました。班員同士で助け合い、より仲が深まりました。



水穴で探検気分

ひんやり涼しい

飯盒炊爨

二年四組 遠藤 主税
林間学校で行われた飯盒炊爨で、僕は友達と協力することの大切さ、親のありがたみを改めて感じました。今後も感謝の気持ちを忘れずに生活したいと思います。



飯盒炊爨

肉じゃがやカレーや思い思いのメニュー

飯盒炊爨

二年三組 小林 杏里

飯盒炊爨では、食事作りや片付けに時間がかかるとはありましたが、班の仲間と協力しておいしいものを作ることができて、最高の思い出になりました。

PTA親睦会 ソフトバレーボール大会

六月十日(日)にPTA親睦会ソフトバレーボール大会が開催されました。地区精鋭の各チームに加えて、教員チームも参戦、計二十四チーム約一七〇名の皆様に参加いただきました。試合は白熱した雰囲気の中、お約束の珍プレーや笑いも各所に見られ、大いに盛り上がった大会となりました。皆様の御協力のもと、怪我等のアクシエントなく大会を運営出来たと、そして運営補助として活躍していただいた女子バレーボール部の皆さんに厚く御礼申し上げます。有難うございました。



西ブロック 優勝：中丸丘B 準優勝：小須 3位：田子

東ブロック 優勝：江川 準優勝：教員A 3位：助六A

自然教室 一年生

自然の中で 一致団結 仲間の力は無限大

一年部主任 今村 利信
「自然の中で一致団結仲間の力は無限大」のスローガンのもと、仲間との絆を深め、時間を守ることができた素晴らしい行事で終了することができました。



学年レクリエーション メディシンボール

実行委員として 一年組 永井 友
私は、自然教室の実行委員として、集いのプログラムや持ち物について考えました。自然教室では、みんなスムーズに仕事ができて良かったです。自然教室で学んだこと、一日目の反省を生かし、二日目では人の話をしっかりと聞くことができました。これからの学校生活でも、自然教室で学んだことを忘れずにしたいと思います。



オリエンテーリング

木立の中は、ピンポイント

全力で挑む 一年三組 望月 英莉
私は、オリエンテーリングや学年レクに、学年の仲間と全力で挑むことができました。これからの生活でも、何事も全力で挑むという心掛けたいです。

母親委員長 佐竹 諭有子
六月九日、本校栄養士の安本舞華さんより、手作りにこだわった給食のお話がありました。子供たちの苦手な野菜は、ゼリーやポタージュに調理し、フルーツは同じ甘さになるように切り方を工夫して提供、麺やパンは国産小麦を使用し、加工食品も添加物が含まれていないものを選んでいただきます。安心して食べることのできる給食の提供を、可能な限り対応して下さっていることが分かりました。



給食試食会